

2019年度 KSEA

関西教育行政学会 会報 第12号

The Kansai Society for Educational Administration

〒606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科内
関西教育行政学会事務局
TEL & FAX: (075)753-3080
Mail: kansaisea@gmail.com
ホームページ <http://ksea.jp/>

■□■ 2019年度第35回大会のご案内 ■□■

【日時】 令和元年12月15日（日）午前10時から午後5時20分

【場所】 京都大学吉田キャンパス 文学部校舎2F 第7講義室
（詳細につきましては下記の地図をご参照ください。）

【大会参加要領】

1. 受付
9時30分から、文学部校舎2Fにて行います。
※大会参加費1000円（一般会員、学生会員、当日会員とも）
2. 大会プログラム
大会プログラムは当日、受付にて配布いたします。
3. 昼食
会場周辺の食堂をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。
4. 年会費
大会当日に、来年度（2020年度）の早期納入割引会費
（一般会員6,000円、学生会員3,500円）の受付を設置いたします。

※ **大会および忘年会の出欠について、同封の葉書またはメールにて、12月12日（木）17:00必着でご返信下さいますようお願いいたします。会場設営の関係上、必ずご返信をお願い致します。**

【会場案内】

「京都大学吉田キャンパス 文学部校舎」
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 Tel 075-753-2700

京都大学吉田キャンパスへのアクセス

【路線案内】

主要鉄道	利用交通	乗車バス停	市バス	市バス経路	所要時	下車バス停
JR/近鉄 京都駅から	市バス	京都駅前	□ 206系統	「祇園・北大路バスターミナル」行	約35分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「四条河原町・銀閣寺」行	約35分	百万遍
阪急 河原町駅から	市バス	四条河原町	□ 201系統	「祇園・百万遍」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「出町柳駅 百万遍 銀閣寺」行	約25分	百万遍
			□ 3系統	「北白川仕伏町（上終町・京都造形芸大）」行	約25分	百万遍
地下鉄 烏丸線 烏丸今出川駅から	市バス	烏丸今出川	□ 203系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約15分	百万遍
			□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約15分	百万遍 または京大正門前
地下鉄 東西線 東山駅から	市バス	東山三条	□ 206系統	「高野・北大路バスターミナル」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 201系統	「百万遍・千本今出川」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約20分	京大正門前 または百万遍
京阪 出町柳	徒歩	(東へ)			約20分	
	市バス	出町柳駅前	□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約10分	百万遍 または京大正門前
			□ 17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約10分	百万遍

※上記路線図は京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/) より引用いたしました。

【周辺地図】



※大会会場の文学部校舎は地図中[8]の建物です。

※上記地図は京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/)より引用いたしました。

【大会日程】

開始時刻	内 容	会 場
9 時 30 分～【受付】	大会参加費 1,000 円（一般会員、学生会員、当日会員とも）	文学部校舎 2F 第 7 講義室 前
10 時 00 分～【自由研究発表】	「学校選択制と予算変化 —広島県内の学校選択制を事例にして—」 石垣 智宏 会員 （姫路市立八幡小学校） 「今後の学校事務職員の在り方の展望と課題 —職務内容と労働問題の視点から—」 眞弓（田中） 真秀 会員 （大阪教育大学）	文学部校舎 2F 第 7 講義室
12 時 00 分～【昼食】	会場周辺の食堂をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。	
12 時 00 分～12 時 30 分	〈紀要編集委員会〉	総合研究 2 号館 第 4 演習室
12 時 10 分～13 時 10 分	〈シンポジウム打ち合わせ〉	総合研究 2 号館 第 5 演習室
12 時 30 分～13 時 20 分	〈理事会〉	総合研究 2 号館 第 3 演習室
13 時 30 分～	【大会シンポジウム】 「新自由主義的教育改革は教育現場に何をもたらしたか」 パネリスト： 恩知 忠司 会員 （前・大阪府立北野高等学校長） 原田 琢也 氏 （金城学院大学） 山下 晃一 会員 （神戸大学） 司会： 高田 一宏 会員 （大阪大学） 大脇 康弘 会員 （関西福祉科学大学）	文学部校舎 2F 第 7 講義室
16 時 30 分～【2019 年度総会】		文学部校舎 2F 第 7 講義室
18 時 00 分～【忘年会】	〈会費〉 一般会員 5,000 円 学生会員 3,000 円（予定）	百万遍 しゃらく

【大会シンポジウム趣旨】

新自由主義的教育改革は教育現場に何をもたらしたか

公共サービスに競争原理（市場原理）を導入し、サービスの受け手（顧客）の選択を梃子にして、サービスの効率化と質的向上をはかろうとする考え方は「新自由主義」とよばれる。欧米で新自由主義的な教育改革が台頭したのは1980年代であるが、日本でそうした教育改革の動きが目立ってきたのは21世紀になってからである。小・中学校の学校選択制度、私学と進学実績を競い合う公立中高一貫・小中一貫校の設置、高校の学区全廃と選抜の広域化などがそうした改革の例だと言える。一方、関西では、地域社会と学校の連携・協働やマイノリティ・生活困難層の教育権保障に力を注いできた歴史的な経緯があり、ドラスティックな新自由主義的改革の動きは顕在化していなかった。

風向きが変わったのは、後に「大阪維新の会」代表を務めることになる橋下徹氏が府知事になった2008年のことである。この10年来、大阪において断行されてきた教育改革は、大阪の教育現場に少なからぬ衝撃を与えている。かつて大阪の教育は「地域密着」の「ぬくもりのある教育」と評せられた（大阪府教育委員会2005）。ある研究者は、そうした大阪の学校文化を、社会経済的・文化的に不利な立場にある子どもの人権保障を重視する「公正性」、子どもとその保護者の願いに応えようとする「応答性」、教育運動を担う教師の「主体性」という観点から整理している（濱元・原田2018）

一連の教育改革は、上で述べたような「大阪らしい」教育をとりまく環境を大きく変えた。学力政策の重点は、社会的困難層の学力の底上げや学力格差の縮小から、全国的な学力水準へのキャッチアップや「グローバルリーダー」の育成へと移った。公正重視から卓越性重視への転換である。各学校に対しては、学力向上、進学実績の向上、問題行動の減少をはじめとする可視的な成果が求められるようになった。応答責任（レスポンシビリティ）重視から説明責任（アカウンタビリティ）重視への転換である。教員政策においては、職務命令違反者の処分の厳格化や保護者による「不適格教員」の申し立てについて定めた条例が制定されるなど、教師は教育改革の標的だと見なされるようになった。

それでは、そうした教育政策の転換は、実際には、教育現場にどのような影響を与えたのだろうか。意外なことに、改革の理念や制度設計の検討に比べ、教育現場でなにがおきているかを明らかにした研究は少ない。教育改革の成否は、つまるところ、児童生徒の学びとそれを支える教育実践の質によって評価されるべきなのに、教育現場の実相を明らかにする作業は充分だとはいいたい。

そこで、このシンポジウムでは、一連の教育改革が教育現場にもたらした影響を多面的に検討してみることにした。今回、取り上げるのは、ドラスティックな制度改革が行われた高校教育と大阪ならではの特色を持った障害児教育である。

高校教育に関しては、普通科の学区の全廃、普通科と専門学科の入試日の一本化、大学進学指導に力を入れる「文理学科」の設置、3年連続定員割れした高校の再編整備など、大きな制度改革が行われた。これらが高校現場に与えた影響について、府立高校の校長としての経験をふまえて、恩知忠司会員にご報告いただく。ついで、金城学院大学の原田琢也氏（非会員）には、インクルーシブ教育の現状をご報告いただく。競争主義的・成果主義的な改革が推し進められる中、「障害」者と「健常」者がともに学ぶ実践はどのような課題に直面しているのか。原田氏には、小・中学校でのフィールドワークから得られた知見をご紹介いただく。3人目のパネリストは山下晃一会員である。山下会員には、公正（equity）原理と卓越性（excellence）原理のせめぎ合い、一連の改革がどのような社会層に支持されてきたのか、教職の専門性・自律性と教育改革の関係など、新自由主義的な改革のポリティクスについてご検討いただく。

【パネリスト報告題目】

1. 卓越性重視の改革と高校教育

恩知 忠司 会員（前・大阪府立北野高等学校長）

2. 新自由主義的教育政策と学校文化のレジリエンス

原田 琢也 氏（金城学院大学）

3. 大阪教育改革をめぐる「教育政治学」的考察

—改革の「利益」は誰にもたらされるのか—

山下 晃一 会員（神戸大学）

□■□ 事務局より □■□

【紀要第47号への投稿申込について】

『教育行財政研究』第47号（2020年3月発行予定）の「自由研究論文」及び「研究ノート」への投稿申し込みを受け付けています。「自由研究論文」への投稿資格は、2018年1月例会から2019年12月例会（大会）において発表した会員です。なお、「研究ノート」は、その性質上、例会・大会でいまだ発表していない場合でも投稿可能です。

投稿資格を有し、かつ投稿を希望する会員は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、件名「投稿申込」として11月30日（土）17時までに紀要編集委員会 (kseakiyou@gmail.com) までメール添付でお送りください。所定の申し込み用紙は、学会 HP (<http://ksea.jp>) からダウンロード可能です。なお、原稿の投稿締め切りは2020年1月10日（金）17時です。ご不明な点などございましたら事務局までお問い合わせください。

【例会報告のお願い】

例会報告をご希望の方は、例会担当の高田理事、開沼理事もしくは事務局までご連絡をお願いします。

【寄贈図書】

下記の図書が寄贈されました。閲覧を希望される方は事務局までご連絡ください。

- スクールリーダー研究会『スクールリーダー研究 —教師の学習コミュニティ—』第12号、2019年。

【会費納入のお願い】

2019年度学会費を未納の方は、早急に納入をお願いいたします。一般会員は7,000円、学生会員は3,500円です。名誉会員については会費の納入は不要です。

また来年度（2020年度）学会費につきましても、大会受付時にお支払いいただけます。なお、3月例会までの月例会出席時に直接お支払いいただくと、一般会員は6,000円となります。会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座番号：01000-8-34227 加入者名：関西教育行政学会

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	109
店名 (カナ)	一〇九店 (イチゼロキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0034227
カナ氏名 (受取人名)	カンサイキョウイクギョウセイガツカイ (全て大文字)

【事務局からのお願い】

所属、住所、メールアドレス等が変更になりましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

【事務局の連絡先】

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

電話：075-753-3080

Mail：kansaisea@gmail.com

忘年会のご案内

【日時】令和元年12月15日(日) 午後6時より

【会費】一般会員 5,000円程度、学生会員 3,000円程度

※参加人数により多少変動する可能性があります

【会場】百万遍 しゃらく (〒606-8225 京都市左京区田中門前町 59)



(上図は、Google マップ (<http://maps.google.co.jp/>) より引用しました。)